

# 漁海況月報

No. 3

平成19年 3月 1日

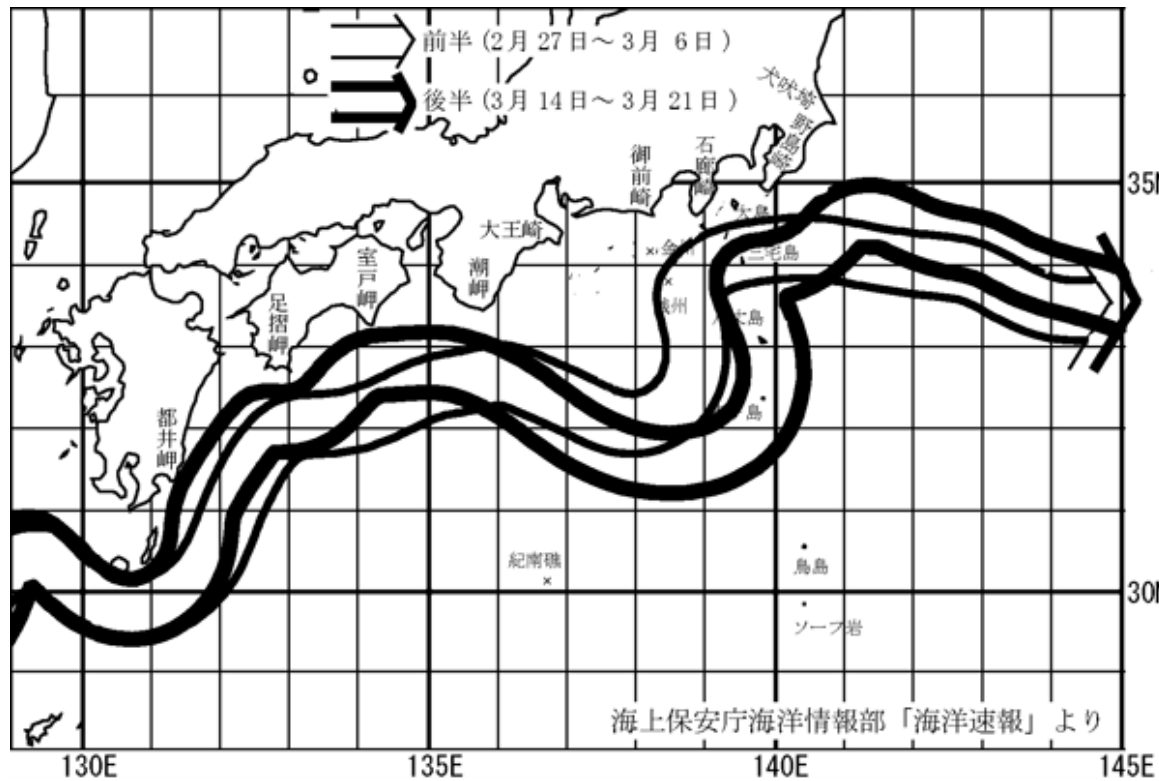
～ 3月31日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.8	16.1	15.5	16.5	16.5	16.2	13.8
	1.2	2.0	1.8	2.1	2.3	2.8	2.0
中旬	14.7	15.6	14.6	15.7	15.8	15.5	12.6
	0.9	1.3	0.7	1.0	1.0	1.6	0.2
下旬	15.1	15.8	15.4	15.9	15.8	15.8	14.2
	1.0	1.3	1.1	0.6	0.5	1.5	1.1
月	14.9	15.9	15.2	16.0	16.1	15.8	13.5
	1.0	1.6	1.2	1.2	1.3	1.9	1.0

## 【黒潮流路】

前半、黒潮は九州東岸から足摺岬にかけて概ね接岸傾向を示し、土佐湾以東でやや離岸した後、潮岬から南東に流れた。その後、遠州灘沖 32° N 付近まで離岸した後、伊豆列島西側を北上し、石廊崎付近で顕著な接岸傾向を示した。

後半には、黒潮は九州東岸から潮岬にかけて接岸傾向を示し、潮岬から南東に流れた。その後、遠州灘沖 32° N 付近を東に流れ、八丈島付近から伊豆列島線に沿って北上した。石廊崎付近での接岸傾向は、前半に比べ弱まった。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 14～16°C 台、駿河湾東部では 14～17°C、西部では 11～16°C 台で経過した。黒潮からの暖水波及により、平年に比べ全般に高めで経過し、特に上旬には、石廊崎付近での黒潮接岸の影響を受け、稲取および駿河湾東部、西部で旬平均で 2°C 以上高めとなった。

## 【竿釣近海カツオ】

本県近海竿釣り船はハロース (31° -53° N、139° -55E) で大、特大カツオ、キメジ、チャップパを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
19年 3月上旬	42	5	8.5	501
	107	11	9.7	504
	65	12	5.4	647
19年 3月計	214	28	7.6	547
18年 3月計	302	20	15.1	400
17年 3月計	471	54	8.7	327

## 【定置網】

平成19年3月、伊豆半島東岸大型定置網8か統 (伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚量は 158 トンで、操業がなかった赤石を除く 1 漁場当たり水揚量 22.6 トンは前年 57.9 トン (7 漁場) の 39%、平年値 (昭和 57～平成 18 年) 44.9 トンの 50% であった。

魚種別漁獲量は、①スルメイカ 54.2 トン (A : 前年同月比 408%、B : 平年同月比 270%) ②マイワシ 24.3 トン (A : 314%、B : 46%) ③ウルメイワシ 23.1 トン (A : 147%、B : 832%) ④カタクチイワシ 15.3 トン (A : 24%、B : 19%) ⑤マアジ 9.9 トン (A : 6%、B : 10%) の順であった。スルメイカは富戸、北川、川奈を中心に入網し、昭和 58 年以降で最も多く漁獲され、外套背長のモードは 23cm であった。マイワシは伊豆山、川奈、富戸を中心に入網し、被鱗体長のモードは 10cm と 15cm にみられた。ウルメイワシは川奈、伊豆山を中心に入網し、昭和 58 年以降で最も多く漁獲され、被鱗体長のモードは 15cm にみられた。カタクチイワシは谷津に集中的に入網し、被鱗体長のモードは 12.5 ～13cm にみられた。マアジは伊豆山、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは 21～22cm であった。

漁場別水揚量は、川奈 38 トン (ウルメイワシ、スルメイカ、マイワシ中心)、谷津 31 トン (カタクチイワシ、スルメイカ中心)、伊豆山 30 トン (マイワシ、ウルメイワシ、マアジ中心) の順であった。

**【サバたもすくい棒受網】**

小川港にはたもすくいによってマサバ478トン、ゴマサバ118トンが水揚げされた。下旬前半までの漁場は利島～大室出し周辺海域に、下旬後半からは高瀬（ヒョータン）周辺海域に形成され、尾叉長32～36cmのマサバ主体に29～34cmのゴマサバが2～3割程度混獲された。漁獲されたマサバ、ゴマサバとも2004年級群と思われるものがほとんどで、1kg当たりの平均単価はマサバで181円、ゴマサバで51円であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (ト)	日数	延隻数	1隻当り (ト)	漁 場
平成19年 上旬	219	6	16	13.7	利島、大室出し
3月 中旬	214	5	14	15.2	利島
下旬	163	5	16	10.2	利島、高瀬（ヒョータン）
計	596	16	46	13.0	-----
平成18年3月	624	9	20	31.2	三宅、三本
平成17年3月	268	9	21	12.8	三宅、鵜渡根島、新島

**【シラス船曳網】**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が217kg、遠州灘が401kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は335kgと前年同期(141kg)の2.4倍、平年同期(過去5か年平均:111kg)の3.0倍と前年及び平年同期を大きく上回った。また、総水揚量は257.0トンで前年同期(34.2トン)の7.5倍、平年同期(24.7トン)の10.4倍と、前年及び平年を大きく上回った。平均単価は592円/kgと平年同期(859円/kg)を下回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	20.3	6	60	339	503
舞 阪	121.6	6	230	529	489
福 田	39.0	6	143	273	651
御前崎	16.3	5	59	276	780
吉 田	34.0	6	156	218	718
静 岡	25.9	6	120	216	768
平成19年3月計	257.0		768	335	592
平成18年3月計	34.2		242	141	744
平成17年3月計	39.6		372	107	1,249

**【まき網】**

小川港では、マイワシが0.9トンの水揚げで平年同期(18.3トン)を大きく下回った。沼津港では、マイワシが42.4トンの水揚げで平年同期(20.2トン)の2.1倍であったが、カタクチイワシの水揚げはなかった。静浦港では、マイワシが0.7トンの水揚げで平年同期(0.5トン)並みであった。伊東港での水揚げはなかった。

注) 平年同期: 過去5か年(2002～2006年)平均

**【調査船の動向】**

富 士 丸	3月1日 ～	3月1日	回航(中間検査及びペンドック)	(1日間)
	3月29日 ～	3月29日	回航(中間検査及びペンドック終了)	(1日間)
駿 河 丸	3月7日 ～	3月8日	地先定線観測(駿河湾)	(2日間)
	3月9日 ～	3月9日	回航(中間検査及びペンドック)	(1日間)
	3月28日 ～	3月28日	回航(中間検査及びペンドック終了)	(1日間)

**お知らせ**

2007年4月1日より、「静岡県水産試験場」は「静岡県水産技術研究所」となりました。

静岡県水産技術研究所のホームページ  
パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>  
右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAによる海面の水温分布画像を見ることができます。

